

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1151
事業コード		事務事業名	勝舟投票券発売事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	B 条例 C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け  
基本目標

にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名 競艇
------------------	-----------

### 事務事業の内容

対象（受益者）	競艇来場者に対して
手 段	勝舟投票券を迅速かつ正確に発売することによって
想定する成果	競艇の売上向上を図る。

### 事業の概要

(千円)

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画
手窓発売金	10,552,500	2,337,761	5,726,918	2,719,016	5,463,399
自販機発売金	11,012,461	2,650,475	7,201,411	7,790,659	15,630,804
手窓台数	168 台	132 台	132 台	90 台	90 台
自販機台数	93 台	93 台	93 台	136 台	136 台
自場開催日数	143 日	43 日	93 日	87 日	186 日
	H18.1.14～		H18.10.25～		

### 成果指標

成果指標名	1台あたり発売金額（日）	手窓1台あたり発売金額	自販機1台あたり発売金額
成果指標の説明	手窓発売金 + 自販機発売金 / 手窓台数 + 自販機台数 / 自場開催日数	手窓発売金 / 手窓台数 / 自場開催日数	自販機発売金 / 自販機台数 / 自場開催日数

### 事業の進捗状況 ( モーターボート競走事業特別会計 )

		平成17年度決算		平成18年度決算		平成19年度予算
成果指標	計画					501,812 円
	実績	577,792 円	515,579 円	617,841 円	534,517 円	
成果指標	計画					326,367 円
	実績	439,248 円	411,867 円	466,513 円	347,256 円	
成果指標	計画					617,916 円
	実績	828,066 円	662,784 円	832,629 円	658,439 円	
事業費	事業費	1,312,951 千円		1,717,320 千円		1,749,089 千円
	人件費	34,589 千円		33,471 千円		26,034 千円
	(人数)	4.3		4.3		3.3
	合計	1,347,540 千円		1,750,791 千円		1,775,123 千円
財源内訳	国					
	県					
	市債					
	その他					
	一般財源	1,347,540 千円		1,750,791 千円		1,775,123 千円

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	手窓台数を減らし自動販売機を増やすことにより、発売の効率化を図った。
経済効率性	2	3	2	2	自動販売機増設により配置人員を見直し、人件費の削減を図る。
事務効率性	2	2	2	2	自動販売機増設により従事員一人での管理窓口数を増やすことができた。
必要性	3	3	3	3	競艇事業を運営してゆくためには、最も重要な事業である。
小計	9	10	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	施策の達成には、非常に効果がある事業である。
合計	12	10	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	A	人件費が経費のうち大きな割合を示しているので、自動販売機の導入は、今後必要である。又、自場の発売額に即した投票所及び窓口の配置も随時更新の必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
H18.10.25から自動販売機のうち16台を機種更新し、新たに43台導入し計136台に増やし、売上向上を図った。	

今後改善すべき点

本年度から競艇事務の私人委託が可能となったため、投票業務全般の委託化による業務効率化を推進する。
--

平成20年度予算に反映する項目

一部業務の委託化
----------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	キャンペーン等運営事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	競艇ファン及び一般を対象に
手段	主にビッグレースを対象とした宣伝キャンペーンを実施することで
想定する成果	レース周知と来場促進、売上向上を図る

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
周年競走実績	電話投票者キャンペーン マスコミ媒体PR訪問 宿泊券プレゼント	電話投票者キャンペーン マスコミ媒体PR訪問 宿泊券プレゼント	電話投票者キャンペーン マスコミ媒体PR訪問 宿泊券プレゼント
周年売上	9,169,822,000円	7,899,779,500円	7,770,204,800円
周年利用者数	612,608人	590,731人	645,768人
売上額	55,367,329,900円	63,142,000,000円	69,599,000,000円

成果指標

成果指標名	周年利用者1人当たりの購買額	キャンペーン事業費1円当たりの売上額
成果指標の説明	周年売上額 / 周年年間利用者数	売上額 / キャンペーン事業費

事業の進捗状況 ( モーターボート競走事業特別会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	12,033円
	実績	14,968円	13,373円	-
成果指標	計画	-	-	1,611円
	実績	7,755円	9,332円	-
事業費	事業費	5,531	5,209	41,629
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	7,140	6,766	43,207
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,140	6,766	43,207

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	キャンペーン告知は計画通り実施できているが、売上に直結しているかどうか把握しにくい。
経済効率性	1	1	1	1	キャンペーンが来場者増および売上増にどれだけ貢献しているか明確でない。
事務効率性	3	2	2	2	業者委託、職員努力と効率性を分けて実施している。
必要性	2	2	2	2	キャンペーン展開によりレースの盛り上げは必要である。また、中央団体へ示す実績としても必要性がある。
小計	8	7	7	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	レース開催をPRし、盛り上げることで、売上に貢献している。
合計	10	7	9	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	本場来場者が減少している中で、来場促進キャンペーンは重要な業務であり、より工夫した展開方法を考え出す努力が求められている。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
マスコミ媒体訪問によるPRをスポーツ紙のみから、一般紙へも広げてPRを行うようにした。また、電話投票売上が高いため、電話投票者向けのサービスやキャンペーンも力をいれつつある。また、蒲郡市観光協会の提供するペア宿泊券も好評なため、Gクラスのレースでは本数を多く提供いただけるようにしている。	

今後改善すべき点

19、20年度にはSGレースがあり、全国展開キャンペーン実施を予定しているため、より効果の高い方法を研究し実施していきたい。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	看板広告事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

### 事務事業の内容

対象（受益者）	競艇に関心のある人及び広く一般の人に
手 段	蒲郡競艇場内外に看板及び宣伝のぼりを掲出し
想定する成果	開催日程、蒲郡競艇への道順などを周知する。

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
通年看板	野立看板15 駅看板4 場内2 電柱54 出走表箱38 消火栓 9	野立看板15 駅看板4 場内2 電柱54 出走表箱38 消火栓 9	野立看板17 駅看板4 場内2 電柱54 出走表箱38
タイトル看板	南・東・西・正面・対岸	南・東・西・正面・対岸	対岸
のぼり	S G、G レースで場内及び入場門付近、三河塩津駅から競艇場までの経路に掲出		
年間入場者数	654,536人	540,403人	522,000人

### 成果指標

成果指標名	看板広告費比率	入場者1人当たりの看板広告事業費
成果指標の説明	看板広告費 / 広告総事業費 × 100	自場看板広告事業費 / 入場者数

### 事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別 会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	3.0%
	実績	4.6%	4.9%	
成果指標	計画			60.4円
	実績	49.3円	67.2円	
事業費	事業費	30,672	34,751	29,956
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	32,281	36,308	31,534
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	32,281	36,308	31,534

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	3	2	場内日程、駅看板、野立看板などで開催日程の周知をし、道路看板で道案内を示す目標は達成している。
経済効率性	1	2	2	2	開催日程、道順を示すことが出来ると共に蒲郡競艇のPRができていますが、来場者数減少により効率性を見直す必要が生じているおり、道路網の整備状況を勘案した設置位置のさらなる検討も必要である。
事務効率性	3	2	2	2	開催日程については、業者との連携が出来ている。
必要性	3	3	3	3	開催日程、利用者への道案内を示す看板は必要性が高い。
小計	10	9	10	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	競艇ファンへのサービスの一環として貢献している。
合計	12	9	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	場内日程、駅看板、野立看板等で開催日程の周知をし、道路看板で道案内を示す目標は達成しているが、来場者減に伴い、設置位置等においてさらなる精査が必要である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度より、駅看板はJR蒲郡、三河塩津を除き、全廃した。平成18年度には、南・西・正面・東の各ゲートに設置していたレース開催日程看板を固定看板に変更した。加えて、競艇場周辺の消火栓に設置してあった看板を全廃した。	6,000,000円

今後改善すべき点

23号バイパスの部分開通により、名古屋方面からのアクセスがより便利となったことに伴い、来場者ルートを精査し、野立て看板の統廃合を検討する必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

野立て看板位置見直しによる経費節減
-------------------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	宣伝用印刷物製作事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	競艇に関心のある人に
手 段	開催日程告知ポスター、競艇ニュース、パンフレット、チラシ等を制作し、掲示及び配布することで
想定する成果	競艇に関する情報を提供し、売上向上を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
レジャーポスター制作・掲出費	12,000枚 / 41,405,574円	6,000枚 / 42,559,776円	12,000枚 / 41,589,576円
周年パンフレット	63,000部 / 976,500円	53,000部 / 924,000円	55,000部 / 924,000円
競艇ニュース	476,000部 / 1,018,709円	360,000部 / 903,210円	432,000部 / 997,920円
売上額	55,367,329,900円	63,142,000,000円	69,599,000,000円

成果指標

成果指標名	印刷物制作事業比率	印刷物製作事業費1円当たりの売上額
成果指標の説明	印刷物制作費 / 広告総事業費 × 100	売上額 / 印刷物制作事業費

事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	9.4%
	実績	8.1%	9.6%	-
成果指標	計画	-	-	678.5円
	実績	863.0円	836.2円	-
事業費	事業費	60,132	70,845	97,838
	人件費	4,022	4,670	4,733
	(人数)	0.5	0.6	0.6
	合計	64,154	75,515	102,571
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	64,154	75,515	102,571

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	ポスターやパンフレット及びチラシは、レース開催アピール物としての定番であり、競艇ニュースは次のレース情報としてファンに定着している。
経済効率性	2	2	2	2	ポスター掲出場所は随時精査しており、内容の評判もよい。競艇ニュースは単価を極限まで下げている。
事務効率性	2	2	2	2	コンペ方式で選定を行い、よりよい内容で制作している。
必要性	3	3	3	3	主要レース内容やファンサービスを周知し、ファンの関心を高め売上向上に直結する事業である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	競艇ファン及び新規客へのサービスの一環として貢献している。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	ポスター、パンフレット、競艇ニュース等、一定の評価は得られるものの、他場との競合に勝ち抜くため、常時ワンランクアップしたものを制作していく努力が求められている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
18年度まで名鉄常滑駅に掲出していたポスターを19年度から全廃した。	2,373,600円

今後改善すべき点

ポスター、パンフ、競艇ニュースとも印刷枚数の精査を行い、経費削減に努める。来場いただくファン層を分析し、よりデザイン性に優れ、話題性の高いものを提供できるよう努める。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	電波広告事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

### 事務事業の内容

対象（受益者）	競艇に関心のある人及び広く多くの人に
手 段	テレビ・ラジオを利用し、開催日程、レース結果などの情報を提供することにより、
想定する成果	ファンの来場促進、売上向上を図る。

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
テレビ実績	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、静岡放送レースガイド、三河湾ケーブル、豊橋ケーブル、市政ビデオユース	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、静岡放送レースガイド、三河湾ケーブル、豊橋ケーブル	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、静岡放送レースガイド、三河湾ケーブル、豊橋ケーブル、豊川ケーブル
ラジオ実績	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果、静岡放送レースガイド	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果、静岡放送レースガイド	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果、静岡放送レースガイド
売上額	55,367,329,900円	63,142,000,000円	69,599,000,000円

### 成果指標

成果指標名	電波広告事業費1円当たりの売上額	電波広告費比率
成果指標の説明	売上額 / 電波広告事業費	電波広告費 / 広告総事業費 × 100

### 事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			553.6円
	実績	860.7円	724.4円	
成果指標	計画			27.2%
	実績	34.5%	30.4%	
事業費	事業費	61,917	84,828	123,359
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	64,330	87,163	125,726
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	64,330	87,163	125,726

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	テレビCMはトトまるを利用しており、蒲郡競艇のイメージを高めるために貢献している。
経済効率性	2	2	2	2	テレビ、ラジオとも不特定多数に蒲郡競艇のPRをすることができるため、ファン拡大に寄与している。
事務効率性	2	2	2	2	よりイメージアップをさせるためのCM制作に努めている。
必要性	3	3	3	3	蒲郡競艇のイメージアップとレース告知は必須である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	ファン拡大とレース情報提供に貢献している。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	蒲郡競艇のイメージアップには欠かせないと認識しており「トトまる＝蒲郡競艇」という戦略は定着しつつある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
16年度まで実施していた放送枠を取りやめ、経費削減に努めた。現在は、大きなレースのみスポット放映をし、その効果を高めるようにしている。	

今後改善すべき点

テレビCMの制作を必要最小限に回数をとどめるとの方針を継続し、既存のもので評判のよいフィルムを使いまわすようにする。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	ファンクラブ運営管理事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇有料ファンクラブ会員に
手 段	魅力ある事業を実施することにより
想定する成果	会員(蒲郡競艇の恒常的なファン)を増やし、売上向上に結びつける。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
会員数	1,288人	1,254人	1,172人
主な事業	誕生日プレゼント、場外発売時の抽選会、他場観戦ツアー	入会プレゼント、場外発売時の抽選会、他場観戦ツアー	入会プレゼント、場外発売時の抽選会、他場観戦ツアー

成果指標

成果指標名	ファンクラブ会員数	ファンクラブ会員1人あたりの事業費
成果指標の説明	ファンクラブ会員数	ファンクラブ運営・管理事業費 / 会員数

事業の進捗状況 ( モーターボート競走事業特別会計 ) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	1,172人
	実績	1,288人	1,254人	-
成果指標	計画	-	-	4054.6円
	実績	2781.8円	2728.9円	-
事業費	事業費	1,974	2,644	3,963
	人件費	1,609	778	789
	(人数)	0.2	0.1	0.1
	合計	3,583	3,422	4,752
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,583	3,422	4,752

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	3	年会費5,000円の有料ファンクラブ制としているが、会員が年々減少してきているものの会員数が1,000名以上いることは評価できる。
経済効率性	1	2	2	2	年会費分を超えるファンサービス特典を実施しており、経済効率性が低い、観戦ツアーでは、負担金を徴収するなどの努力をしている。
事務効率性	1	2	2	2	SG競走、全国一斉発売のG レース場間場外発売日の土・日曜日行う「抽選会」の案内ハガキ送付に時間を要する。
必要性	3	3	3	3	蒲郡競艇の恒常的ファン増加、売上向上のため、競走会との連携のもと実施する事業に位置づけられている。
小計	7	10	9	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	蒲郡競艇場のファンとして、イメージ展開も含めファン層の中核をになっており、貢献度は高い。
合計	9	10	11	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	蒲郡競艇の恒常的なファンを維持するための事業として貢献しているが、効率的な運営努力が必要とされる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
誕生日プレゼントを誕生日に送付していたが、未着等のトラブルが発生したため、18年度より入会時プレゼントに方法を変更した。17年度より会員向け情報誌発行を廃止し、蒲郡競艇のトピックスやニュースを紹介できるようなパンフレットを送付している。	

今後改善すべき点

抽選会時にファンと会話をすることで、ファンの立場から気づいた競艇場運営等に関する改善点などを活かすように心がけている。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	表彰式、イベント等開催事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

### 事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人及び広く一般の人に
手 段	蒲郡競艇場内でイベントを開催し
想定する成果	蒲郡競艇への来場を促進し、売上向上を図る

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
主なイベント	マツケツバを踊ろう・キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・縁日コーナー・クリスマスイベント	昭和アーケード展開・お笑いイベント・キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・縁日コーナー	昭和アーケード展開・お笑いイベント・キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・予想バトル
売上額	55,367,329,900円	63,142,000,000円	69,599,000,000円
年間入場者数	654,536人	540,403人	522,000人

### 成果指標

成果指標名	入場者1人当たりのイベント開催経費	イベント事業費1円あたりの売上額
成果指標の説明	イベント等開催経費 / 年間入場者数	売上額 / イベント開催経費

### 事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	93.2円
	実績	26.6円	72.6円	-
成果指標	計画	-	-	1,430円
	実績	3,174円	1,609円	-
事業費	事業費	14,225	36,906	46,298
	人件費	3,218	2,335	2,367
	(人数)	0.4	0.3	0.3
	合計	17,443	39,241	48,665
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	17,443	39,241	48,665

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	常連ファンからファミリー向けまで様々なイベントを行っているが売上に直結しているかどうか測りにくい。
経済効率性	2	2	2	2	ネームバリューの高いショーを行なうと、集客はできるが、売上に直結しにくい側面を有している。
事務効率性	2	2	2	2	企画したイベントはファンに好評である。
必要性	2	2	2	2	売上が落ちている本場への来場者増には必要だが、売上に貢献できる仕組みが必要。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	レース開催をPRし、場の盛り上げるには貢献している。
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	本場入場者数が減少する中で、本場の活気をつくり、売上向上に結びつくイベントの開催が必要である。少ない経費でより効果的な事業の展開に努力すべき。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
16年度まで実施していた花火の打ち上げを中止した。ファミリー向けに展開していたトトまるランド、ちびっ子縁日を中止し、従来のピアホール展開に絡ませた新しいコンセプトのもと、平成18年度より昭和アーケードでの展開とし、昭和にちなんだイベントを取り入れ来場者に競艇以外の楽しみを提供した。このことは、全国的にも注目を集め、概ね好評を得た。	

今後改善すべき点

定着しつつある昭和アーケードに斬新なアイデアを盛り込み、来場者へ新しい楽しみを提供することで、蒲郡競艇へのリピーター(ファン)を増やしていくべき。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】